

第3次熊本市食の安全安心・食育推進計画

「食育の推進」の実施結果について

3次計画の取組の評価

【食育の推進】

No.	項目	H30 基準値	R5 実績	R5 目標値	到達度 (H30比)	
1	食育に関心がある市民の割合	77.1%	88.2%	90%	↗	
2	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	10.4回	現状維持	↑	
3	1週間あたりの朝食について	幼児	97.3%	96.7%	100%	↘
	※幼児は「毎日食べる」の割合	小学5年生	1.7%	*1.9%	0%	↘
	※他は「ほとんど食べない」の割合	中学2年生	4.2%	*2.5%	0%	↗
	若い世代 【20歳代・30歳代】		18.5%	13.3%	10%以下	↗
	65歳以上		3.4%	2.3%	0%	↗
4	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	100%	*100%	100%	↑
		私立	87.2%	*89.5%		↗
5	体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	100%	*100%	100%	↑
		私立	100%	*100%		↑
6	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	94.0%	*82.0%	100%	↘	
7	企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)	20件	*3件	30件	↘	
8	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	76.1%	77.7%	85%	↗	
	(再掲)若い世代【20歳代・30歳代】	64.0%	74.6%	75%	↗	
9	栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	63.4%	70.5%	80%	↗	
10	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に気をつけた食生活を継続して実践している市民の割合	34.3%	31.8%	50%	↘	
	(再掲)若い世代【20歳代・30歳代】	22.5%	23.4%	25%	↗	
11	食育の推進に関するボランティア数	1,536人	*1,829人	1,850人	↗	
12	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	*219店舗	250店舗	↗	
13	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	62.6%	*22.7%	70%	↘	
14	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	605 (H28実績値)	*768	776	↗	
15	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	32.3%	50%	↘	
16	進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	59.7%	80%	↘	
17	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万円	*3,258百万円	3,339百万円	↗	
18	学校給食における地元農産物の使用割合	38.2%	*39.2%	43%	↗	
19	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	59.1%	80%	↘	
20	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけをしている市民の割合	74.6%	77.2%	85%	↗	
	(再掲)若い世代【20歳代・30歳代】	68.5%	78.4%	75%	↑	
21	熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.7%	81.3%	85%	↗	
22	「もったいない!食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	108店舗	200店舗	↗	
23	災害に備えて飲料水や食料を7日分以上備蓄している市民の割合	7.7%	*9.5%	増加	↑	

到達度凡例

平成30年度比	矢印
目標値超	↑
上昇	↗
下降	↘

*R4年度の実績値

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

施策の方向性		(1)家庭における食育の推進	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	①	食育に関心がある市民の割合	77.1%	-	-	-	-	88.2%	90%
	②	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加 ※1週間のうち朝食又は夕食を家族と一緒に食べる回数	9回	-	-	-	-	10.4回	現状維持
取り組むべき施策		1) 「食卓」の重要性についての啓発 2) 食を楽しむことについての啓発 3) 男女共同参画による食育の推進							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	結婚・子育て応援サイト	サイト内で妊娠期、乳幼児期の健康や食事に関する情報の提供	実施	アクセス数 3,349,213件	アクセス数 10,625,221件	アクセス数 13,407,737件	アクセス数 15,346,793件	アクセス数 18,198,750件	継続実施	こども政策課
2	乳幼児ママ・パパ教室	就学前のこどもを持つ保護者の団体や子育てサークル等に講師を派遣し、家庭教育についての学習機会の提供	実施	派遣回数 3回	実施なし	派遣回数 1回	派遣回数 7回	派遣回数 4回	継続実施	こども支援課
3	乳児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、離乳食の進め方等について講話を実施	実施	79回 624人	20回 92人	35回 184人	66回 503人	90回 810人	継続実施	各区保健こども課
4	幼児のための食育講座	育児サークルや子育て支援センター等で、幼児期の食生活やおやつとの与え方について講話を実施	実施	19回 179人	6回 23人	12回 41人	13回 54人	16回 117人	継続実施	各区保健こども課
5	育児相談	乳幼児の健康、食生活、歯科について相談を実施	参加者数 3,161人	参加者数 4,138人	参加人数 580人	参加人数 539人	相談件数 851人	相談件数 1,051人	継続実施	各区保健こども課
6	妊産婦健康相談	親子(母子)健康手帳交付時、妊娠期、授乳期の食生活について相談を実施	参加者数 3,293人	参加者数 3,055人	参加人数 2,566人	参加人数 2,337人	参加人数 2,274人	参加人数 2,181人	継続実施	各区保健こども課
7	妊婦健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.6%	受診率 98.68%	受診率 99.0%	受診率 98.8%	受診率 99.1%	受診率 98.0%	100%	こども支援課
8	妊婦一般健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 100%	該当者なし	該当者なし	該当者なし	該当者なし	100%	こども支援課 各区保健こども課
9	3か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 98.0%	受診率 99.15%	受診率 98.9%	受診率 97.7%	受診率 98.7%	受診率 98.1%	100%	こども支援課
10	7か月児健康診査	委託医療機関において健康診査を行い、必要に応じて栄養指導を実施	受診率 96.0%	受診率 96.74%	受診率 97.7%	受診率 97.2%	受診率 97.0%	受診率 97.1%	100%	こども支援課
11	3・7か月健康診査事後指導	健診後の事後指導として、医師の指示により栄養指導を実施	フォロー率 100%	フォロー率 95.38%	フォロー率 81.3%	フォロー率 100%	フォロー率 100%	フォロー率 97.9%	100%	各区保健こども課
12	1歳6か月児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 98.0%	受診率 97.74%	受診率 96.1%	受診率 97.3%	受診率 99.3%	受診率 98.2%	100%	こども支援課
13	3歳児健康診査	健康診査時に幼児期の食生活について指導を実施	受診率 97.1%	受診率 96.87%	受診率 96.8%	受診率 96.3%	受診率 98.8%	受診率 97.7%	100%	こども支援課
14	乳幼児経過観察健診	こどもの発育・発達状況に応じた指導を実施	受診率 72.2%	受診率 75.3%	受診率 85.7%	受診率 78.9%	受診率 86.7%	受診率 96.1%	100%	こども支援課
15	保育所給食見学(子育て支援センター来所者)	楽しく食べることの重要性や方法を、親子での保育体験を通して、給食見学から学ぶ	実施	年間5回程度	実施なし	実施なし	実施なし	実施なし	継続実施	こども支援課 子育て支援センター
16	小児生活習慣病予防検診	肥満度20%以上の小学4年生に対し、検診と保護者への指導を実施(評価指数:肥満度20%以上の児童の割合)	小学生 7.7% 中学生 8.0%	小学生 8.2% 中学生 8.6%	小学生 10.4% 中学生 10.9%	小学生 9.0% 中学生 9.6%	小学生 10.0% 中学生 10.6%	小学生 9.6% 中学生 10.4%	減少	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●講話及び栄養食事相談の実施 ・「看護協会熊本南支部まちの保健室」での講話、電話及び面接、ささえりあ子飼等での栄養食事相談を実施した。 ・講話24名参加。栄養食事相談29名。 	熊本県栄養士会
2	<ul style="list-style-type: none"> ●短期集中予防サービス(訪問栄養指導)の受託 ・対象者7名に21回実施。 	熊本県栄養士会

I 「市民自らが育む食」への理解と健全な食生活の実践

*H29年実績値

施策の方向性	(2)生涯にわたる食育の推進	*H29年実績値							R5 目標値
		H30 基準値	R1 実績値	R2 実績値	R3 実績値	R4 実績値	R5 実績値		
検証指標 項目	③ 1週間あたりの朝食について ※幼児は「毎日食べる割合」、 他は「ほとんど食べない」と答えた割合	幼児	97.3%	-	-	-	-	96.7%	100%
		小学5年生	*1.7%	0.70%	なし	1.50%	1.9%	1.2%	0%
		中学2年生	*4.2%	1.30%	なし	2.60%	2.5%	2.5%	0%
		若い世代【20,30歳代】	18.5%	-	-	-	-	13.3%	10%以下
		65歳以上	3.4%	-	-	-	-	2.3%	0%
	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	86.6%	89.5%	93.5%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	⑥ 授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合		*94.0%	97.0%	調査実施なし	調査実施なし	82.0%	79.6%	100%
⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)		*20件	47件	4件	7件	3件	18件	30件	
取り組むべき 施策	4) 子どもの頃からの体験を通じた食育								
	5) 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進								
	6) 若い世代や働きざかりに対する食育の推進								
	7) 高齢者に対する食育の推進								
	8) 給食を活用した食育の推進								

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	保育所での体験型食育	園庭や畑等での栽培活動、給食準備の手伝い、クッキング体験等を実施	実施率 93.0%	実施率 公立100% 私立90.2%	実施率 公立100% 私立88.6%	実施率 公立100% 私立86.6%	実施率 公立100% 私立89.5%	実施率 公立100% 私立93.5%	100%	保育幼稚園課
2	保育所給食における展示食の実施	日々の給食内容を保護者に知らせ、保護者の給食への関心を高め、食について親子での会話を促す	実施率 76.5%	実施率 公立100% 私立75.6%	実施率 公立100% 私立76.1%	実施率 公立100% 私立79.4%	実施率 公立100% 私立76.2%	実施率 公立100% 私立75.0%	85%	保育幼稚園課
3	「食育だより」の発行	献立表と一緒に、毎月「食育だより」を家庭に向け発信し、食育を推進	実施率 93.4%	実施率 公立100% 私立92.7%	実施率 公立100% 私立93.9%	実施率 公立100% 私立96.4%	実施率 公立100% 私立96.0%	実施率 公立100% 私立93.5%	100%	保育幼稚園課
4	保護者の保育参観	保育所給食の試食と、保育所給食についての説明等を実施	実施率 79.3%	実施率 公立100% 私立74.8%	実施率 公立中止 私立32.0%	実施率 公立中止 私立27.5%	実施率 公立中止 私立39.9%	実施率 公立31.6% 私立54.4%	85%	保育幼稚園課
5	●検証指標 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	4回 135人	3回 58人	11回 445人	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
6	●検証指標 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	3回 117人	実施なし	7回 161人	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
7	高齢者のための食育実践講座	フレイル対策等のための、望ましい食生活の進め方について講話を実施	実施	32回 586人	4回 68人	5回 75人	12回 203人	21回 377人	継続実施	各区保健子ども課
8	介護予防教室	低栄養予防、食生活改善のための健康教育等を実施 (※R2からは、「啓発パンフレットの作成と配付」を除く)	実施回数 1,249回	実施回数 1,662回	実施回数 356回	実施回数 298回	実施回数 310回	実施回数 364回	継続実施	高齢福祉課
9	「食育の日」の実践と食に関する指導資料集の作成	市産品を使用した献立を実施し、指導のための資料集の作成と、全校への配付	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	健康教育課
10	「給食だより」「食育だより」の発行	たよりを発行し、児童、保護者への食に関する啓発を実施	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	発行校の割合 100%	継続実施	健康教育課
11	生活習慣改善啓発パンフレットの作成・配布	パンフレットを保護者へ配布し、基本的な生活習慣についての啓発を実施	実施	配布数 7,144枚	配布数 7,119枚	配布数 6,848枚	配布数 6,692枚	配布数 6,911枚	継続実施	健康教育課
12	健康手帳(小中学生用)の作成・配布・活用	肥満傾向の子に対し、健康手帳を活用し家庭と連携した指導を行い、小児生活習慣病の減少を目指す	実施	健康手帳 使用者数 2,056人	健康手帳 使用者数 2,081人	健康手帳 使用者数 1,626人	健康手帳 使用者数 1,263人	健康手帳 使用者数 1,426人	継続実施	健康教育課

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
13	わくわく楽しい学校給食作品展	給食に関する児童生徒の作品を展示	実施	応募数 1,237点	実施なし	応募数 976点	応募数 1,040点	応募数 996点	継続実施	健康教育課
	●検証指標	【公立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100% (19/19)	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【私立保育所等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	87.20%	90.2% (222/246)	88.6% (218/246)	86.6% (214/247)	89.5% (222/248)	93.5% (232/248)	100%	保育幼稚園課
	●検証指標	【公立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (6/6)	100% (6/6)	100% (6/6)	100% (6/6)	100% (6/6)	100%	指導課
	●検証指標	【私立幼稚園等】体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数)	100%	100% (22/22)	100% (22/22)	100% (21/21)	100% (21/21)	100% (21/22)	100%	健康づくり推進課
	●検証指標	授業参観・懇談会等で保護者へ食育の啓発を行った学校の割合	94.0%	97.0%	調査実施なし	調査実施なし	82.0%	79.6%	100%	健康教育課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●熊本市子ども文化会館歯科健康講座 ・子ども文化会館と共催で講話と実技指導を実施。①講話「子どもの健やかな成長のために！」(政令指定都市むし歯罹患率について・子どものむし歯予防4つのポイント等)②仕上げ磨き実技指導 ・乳幼児、保護者 各4名参加	熊本県歯科衛生士会
2	●小学校歯磨き巡回指導 ・熊本市歯科医師会・教育委員会と連携。熊本市立小学校児童対象に講話と歯磨き実技指導を実施。 ・令和5年11月5校。児童延べ242名に実施。	熊本県歯科衛生士会
3	●高齢者健口講座 ・いつまでも楽しく安全な食生活を目指すために、高齢者対象の「お口の健康講座」を開催。テーマは、「お口と歯の健康(講話と口腔体操等)」。 ・地域の高齢者20名参加。	熊本県歯科衛生士会
4	●保健指導 ・特定保健指導等において食事指導を実施 ・特定保健指導実績 被保険者15,079人、被扶養者302人 計15,381人 実施率41.8%(全国一位)	全国健康保険協会熊本支部
5	●事業者向けセミナー ・事業所向けの健康づくりセミナーを実施。セミナー実施25社。	全国健康保険協会熊本支部
6	●特定健康診査・後期高齢者健診の受診者を対象に、食習慣改善等の支援を実施 ・特定保健指導(積極的支援及び動機づけ支援):192件 ・健康相談・栄養指導:約15件(電話) ・「今日からかえる生活習慣」をテーマとし、生活リズム・食事リズム・食事内容・間食・飲酒・活動量・禁煙についての情報提供資料(紙媒体)を健診結果に同封。:当センターにおける特定健診・後期高齢者健診受診者全員に配布。 ・動画を利用した健康に関する情報提供:6つの動画を作成し、「今日から変える生活習慣～間食編～」 「プレストアウェアネス 乳房を意識した生活習慣」等をYouTubeにて配信。	熊本県総合保健センター
7	●職域での健康支援 ・熊本市の事業所を対象に、体調改善・健康維持を目指し、食事のリズムや食事内容について等のセミナーや指導を実施。 ・特定保健指導(積極的支援及び動機づけ支援):1,451件 ・健診事後指導:63件 ・セミナー:3事業所(生活習慣病予防・健康経営・脳卒中・時間栄養学・花粉症など) ・「今日からかえる生活習慣」をテーマとし、生活リズム・食事リズム・食事内容・間食・飲酒・活動量・禁煙についての情報提供資料(紙媒体)を健診結果に同封。	熊本県総合保健センター
8	●学校給食の実施に係る会議等への参加 ・熊本市学校給食会:評議員2、理事2、監事1名。物資検討委員会2回、食肉査定会2回、物資購入委員会2回、青果物査定委員会1回。 ・熊本市学校給食運営協議会2回 会議に延べ約40回出席。各委員が会議内容を市PTA協議会理事会で報告し、情報の共有を図る。	熊本市PTA協議会
9	●食育情報の共有 ・日本PTA全国協議会や諸団体から配付されている食育に関する冊子を理事会で回覧し、全国のPTAや教育委員会等の取り組みを共有する。	熊本市PTA協議会
10	●三行詩コンクールへの応募 ・日本PTAの事業、楽しい子育てキャンペーン「三行詩コンクール」で各单位PTAに三行詩を応募してもらい、家族のきずなや食の有難さを再確認する。 ・三行詩コンクールには市の小中学校から応募し日本PTAに提出。	熊本市PTA協議会
11	●城南小PTAでの研修(講演)会 ・テーマ:「あ、そうだ。朝ごはんを食べよう！」 講師:元田 雄己氏(Exspinell Fitness所属)現役ボディビルダー、パーソナルトレーナー ・会場:城南小学校各教室(暑さ対策のためオンラインで開催) 参加者:保護者122名、児童(4~6年)108名、教職員18名 参加 ・内容:子どもたちの健やかな成長に必要な食事・運動・睡眠。今回は食事を中心とした内容で、朝ごはんを食べたくなる!作りたくなる!毎日の食事作りに役立つ情報の発信。	熊本市PTA協議会
12	●食育情報の共有 ・関係機関からの食育に関する情報や研修案内を事務局から加盟園へメール配信し情報共有や参加の呼びかけを行った。 ・当協会の設置者・園長会の際、食育について、フッ化物洗口について実情等を伝え、情報共有を行った。	熊本私立幼稚園・認定こども園協会
13	●歯磨き巡回指導 ・小学3年生を対象に、ブラッシング指導等を実施する。令和5年11月に5校実施。	熊本市歯科医師会

14	<ul style="list-style-type: none"> ●おやこの食育教室 ・川尻校区の親子を対象に、テキストを用いて、「朝食と共食の大切さ」に重点をおいて食の大切さを伝えた。 ・R5.11.26 年長から小学2年生の親子22組参加。 	食生活改善推進員協議会
15	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯骨太クッキング ・低栄養とフレイル予防のため、運動や社会参加を含めてた講話等を行った。 ・R5.10.24 15人参加、R5.11.17 12人参加 北区で実施。 	食生活改善推進員協議会
16	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの健康・食生活の支援活動 ・子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ(3種)を配付し、作り方、幼児にとってのおやつ目的、おやつの適切な量や食べ方をお話した。またこどもの頃からの食育の重要性についてもお話した。 ・855回、5,841人(活動集計:子どもの健康・食生活) 	食生活改善推進員協議会
17	<ul style="list-style-type: none"> ●若者・働き世代の健康・食生活の支援活動 ・若者や働き世代の方に対して、若い頃からの生活習慣病予防や食事バランスガイドの普及のための活動を実施した。 ・1,613回、4,490人(活動集計:若者・働き世代の健康・食生活) 	食生活改善推進員協議会
18	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者の健康・食生活の支援活動 ・高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活や日常生活についてのお話を実施した。 ・2,794回、8,439人(活動集計:高齢者の健康・食生活) 	食生活改善推進員協議会
19	<ul style="list-style-type: none"> ●鶴屋保育園給食改善事業 ・百貨店の事業所内保育施設における給食改善と食育の実施(4月～3月) ・1月には、「『食べる』を楽しんでいますか?～意義を考える～」と題して食育講演会を開催した。 	熊本県立大学
20	<ul style="list-style-type: none"> ●食生活サポート ・本学健康診断でBMI30以上に加え、やせも含めて対象者を広げ、希望する学生を対象に、生活習慣改善プログラムを実施。10月～2月、5名実施。 ・伴走によって運動を含めた実践へとつながり、希望した学生の満足度は高いものの、継続が難しい結果だった。 	熊本県立大学
21	<ul style="list-style-type: none"> ●親子クッキング(食育) ・8月4日～8日にかけて、ときわ幼稚園とかしま幼稚園の園児、保護者を対象に計30組に対して、親子でのハンバーガー作りを開催した。実習講師は西洋料理担当の上野先生が行い、料理の手順や作り方をわかりやすく説明した。園児と保護者はお肉を握ねたり、フライパンで焼いたりして、出来上がり後は、楽しく試食を行った。 ・ときわ幼稚園の園児とかしま幼稚園の園児より、感謝のメッセージカードをいただいた。毎年行ってほしいという要望も聞かれ、食に関する興味や関心を十分に引き出すことが出来た。 	シェフパティシエ学院
22	<ul style="list-style-type: none"> ●100円朝食 ・朝食の大切さを知ってもらうために毎年実施。学生に負担がかからないよう、大学が150円を補助し、学生は100円で朝食が摂れる。 ・朝食利用件数 8,609件 	崇城大学
23	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てサークルや保育園、小中学校、地域イベント等における歯と口の健康づくり啓発 ・むし歯や歯周病予防の観点から、規則正しい食生活やよく噛むこと(噛ミング30)の効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図っている。 ・実績:91回 	熊本市8020健康づくりの会
24	<ul style="list-style-type: none"> ●高齢者サロンや老人会での口の体操 ・高齢者サロンや老人会などにおいて、おいしく食べるための口の体操や唾液腺マッサージなどの情報提供を実施。 ・実績:393回 	熊本市8020健康づくりの会

II 健全な食生活を実践するための環境整備

*H29実績値

施策の方向性	(1) 健康寿命の延伸に向けた食に関する情報の発信	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑦ 企業、大学等での食育に関する講座の開催(件数)【再掲】	*20件	47件	4件	7件	3件	18件	30件
	⑧ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上	76.1%	-	-	-	-	77.7%	85%
	ほぼ毎日食べている市民の割合	64.0%	-	-	-	-	74.6%	75%
	若い世代【20,30歳代】	64.0%	-	-	-	-	74.6%	75%
	⑨ 栄養に関する表示等を参考にしている市民の割合	63.4%	-	-	-	-	70.5%	80%
⑩	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に	34.3%	-	-	-	-	31.8%	50%
	気をつけた食生活を実践している市民の割合	22.5%	-	-	-	-	23.4%	25%
取り組むべき施策	9) 「食事バランスガイド」「食育ガイド」等を活用した食生活の実践への支援							
	10) 生活習慣病予防等についての啓発							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	出前講座	市及び関係行政機関等の職員が講師として、地域、学校等へ出向き講話や実習等を行う	15回	37回	20回	19回	36回	66回	継続実施	生涯学習課
2	すこやか食生活改善講習会	小学校区ごとに生活習慣病予防を目的とした献立の普及を図る、講話と調理実習を実施	累計 51,359人	累計 53,097人	累計 53,303人	累計 53,752人	累計 54,643人	累計 55,951人	60,559人	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	食事バランスガイドの啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、食事バランスガイドの啓発を行い、日本型食生活の定着を図る	実施	啓発数 1,559人	啓発数 1,844人	啓発数 1,500人	啓発数 2,020人	啓発数 2,010人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176人	啓発数 11,690人	啓発数 12,171人	啓発数 11,963人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	健康教育(40～64歳)	健康づくりや生活習慣病予防に関する知識の普及と啓発を実施	参加者数 7,520人	参加者数 9,253人	参加者数 2,494人	参加者数 2,220人	参加者数 3,373人	参加者数 5,471人	継続実施	各区保健子ども課
6	健康相談(40～64歳)	個人の生活習慣や食習慣に応じた、健康づくりや生活習慣病予防、生活習慣病の重症化予防に関する助言・相談を実施	参加者数 4,037人	参加者数 2,962人	参加者 3,401人	参加者 741人	参加者 887人	参加者 1,303人	継続実施	各区保健子ども課
7	●検証指標【再掲 I-(2)】 大学生等のための食育実践講座	食生活の乱れが著しい世代に対して、大学等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	43回 2,432人	2回 116人	4回 135人	3回 57人	11回 445人	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課
8	●検証指標【再掲 I-(2)】 働きざかり世代のための食育実践講座	メタボリックシンドロームが増加する世代に対して、職域等と連携し、食生活に関する啓発を実施	実施	4回 113人	2回 159人	3回 117人	実施なし	7回 161人	継続実施	各区保健子ども課 健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●公開講座「在宅ケアでの多職種連携～利用者の思いとともに～」開催 ・会場参加76名	熊本県栄養士会
2	●すこやか食生活改善講習会 ・地域住民を集めて、高血圧予防をテーマに、健康増進のためのレシピの普及と調理実習を開催 ・92校区で実施、92回1308人参加	食生活改善推進員協議会
3	●全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト(第3弾) 若者世代 ・中央高校生徒を対象に、食事バランスプレートを使用し、汁物の食塩濃度の測定法等を伝授し、減塩の必要性を啓発。ヘルスサポーターの育成を通じた普及活動に取り組んだ。 ・R5.12.14 20人参加	食生活改善推進員協議会
4	●全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト(第3弾) 高齢世代 ・高齢者の地域参加を促し、低栄養やフレイルを予防するためランチョンマット等を使用し講話を実施。 ・R5.9.8 15人参加、R5.10.20 13人参加 河内町で実施。	食生活改善推進員協議会

II 健全な食生活を実践するための環境整備

*H29実績値

施策の方向性	(2) 食生活改善をサポートする人材の育成	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	① 食育の推進に関するボランティア数	*1,536人	1,685人	1,757人	1,792人	1,829人	1,915人	1,850人
取り組むべき施策	11) 管理栄養士・栄養士、専門調理師等、専門的知識を有する人材の育成と活用促進 12) 食生活改善推進員等、地域支援者の育成							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	栄養士・管理栄養士養成施設実習生受け入れ	公衆栄養の場における、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 40人	受入数 39人	受入数 0人	受入数 34人	受入数 39人	受入数 34人	継続実施	各区保健こども課
2		実習生が学校給食における課題発見・解決を通して、管理栄養士等として必要な知識・技能を習得することを支援	受入数 43人	受入数 41人	受入数 46人	受入数 51人	受入数 65人	受入数 29人	継続実施	健康教育課
3	栄養教諭養成施設教育実習生受け入れ	児童・生徒の発育に必要な栄養状態の管理や、学校における食に関する指導に必要な知識・技能を取得することを支援	受入数 7人	受入数 1人	受入数 7人	受入数 8人	受入数 11人	受入数 6人	継続実施	指導課 健康教育課
4	栄養管理、調理師対象の研修会の開催	厚生労働省の指導方針、食中毒予防、最新の栄養情報等について研修を実施	開催数 2回	開催数 2回	開催数 0回	開催数 0回	開催数 0回	開催数 2回	2回	食品保健課
5	食育担当者等研修会の実施	食育推進体制の整備や食育全体計画策定等の研修会を開催	参加者数 202人	参加者数 198人	中止	参加者 141人	参加者 139人	参加者 137人	継続実施	健康教育課
6	栄養教諭・学校栄養職員研修会の実施	授業力向上等の研修会を実施	参加者数 67人	参加者数 66人	参加者数 67人	参加者数 64人	参加者 68人	参加者 70人	継続実施	健康教育課
7	地域歯科保健研修会の実施	歯と口腔の健康づくりを総合的に支援する環境の整備に取組むため、保健関係者等が、一同に会し、連携強化を図る	1回 81人	1回 63人	動画視聴数 274回	実施なし	1回 104人	1回 167人	継続実施	健康づくり推進課
8	食生活改善推進員養成講座(すこやかくまもと栄養セミナー)	食を通じた健康づくりのボランティア「食生活改善推進員」の養成	養成数 72人	養成数 49人	養成数 34人	養成数 42人	養成数 40人	養成数 66人	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健こども課
9	食生活改善推進員研修会	ボランティア活動に生かすための知識と技術を習得	53回 2,001人	55回 2,110人	33回 3,771人	39回 2,224人	50回 1,402人	49回 1,668人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
10	食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	年間 2,637人	年間 3,343人	年間 3,917人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健こども課
11	8020推進員育成講座	8020運動を推進する市民ボランティアの育成	養成数 79人	養成数 74人	養成数 100人	養成数 73人	養成数 78人	養成数 107人	100人 (20人×5区)	健康づくり推進課 各区保健こども課
	●検証指標	食育の推進に関するボランティア数	1,536人	1,685人	1,757人	1,792人	1,829人	1,915人	1,850人	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●キャリアアップ研修 ・食育・アレルギー対応に関する研修会の開催。 ・3回実施。修了者42名。	熊本市保育園連盟
2	●給食部会研修会 ・食育の知識を深めるため、保育に携わる職員を対象とした研修。食育実践研修 ・演題:「具体的な食事の提供」講師:皇學館大学、駒田聡子氏 参加者:59名	熊本市保育園連盟
3	●市主催ボランティア養成事業への協力 ・食生活改善推進員の養成講座の中で、受講生に対してボランティア活動の実際についての話や交流会に参加し、養成事業に協力した。 ・5区役所で実施	食生活改善推進員協議会
4	●自己学習 ・食に関するボランティアとして身に付けることが必要な各種知識について、研修会等に参加し自己研鑽を行った。 ・17,804回(活動集計より)	食生活改善推進員協議会
5	●大学生を対象とした食生活調査および教育的活用 ・研究計画を一部変更し、本学1年生を対象に食生活調査を実施。(3年に1回、4年生にも実施予定)教育的活用は、10~1月に2科目で実施。 ・4月200人、10~1月112人 対象。	熊本県立大学

6	<ul style="list-style-type: none"> ●たべらボランチタイムミーティング ・食育を主体的に実施する学部横断的グループ「たべらボ」メンバーを対象に、熊本の食の魅力探しワークショップなどを行う。 ・前学期・後学期:毎週水曜日12:10～12:40 全27回。様々な学生グループの取り組みとコラボした取り組みや、外部の講師を招聘するなど、バリエーション豊かに実施することができた。 	熊本県立大学
7	<ul style="list-style-type: none"> ●くまもと食育ガイドブックの使用 ・くまもと食育ガイドブックを使用した講義の実施10月～1月、63人。 ・自らの食育活動を振り返る機会やアクションプランを作成することで、学生自身の食生活を改善することにつながった。 	熊本県立大学
8	<ul style="list-style-type: none"> ●尚綱学食レシピコンテスト ・テーマ「尚綱ガールズ 鯛レシピコンテスト」:鯛を使ったオリジナル料理(主食あるいは主菜)+1品(サラダ、スープなど) ・材料費1人300円、調理時間60分以内、学生応募総数179点、優秀作品4品を学食で提供した。 ・募集:8～9月、1次・2次・最終審査10月、学食提供:11月～12月(4回)、場所:尚綱大学九品寺キャンパス 	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
9	<ul style="list-style-type: none"> ●尚綱乳幼児食育研究会 ・乳幼児の食に関する課題や保育現場での食育活動、給食管理(食物アレルギー対応、衛生管理等)の課題を解決していくために、県内の保育所等の関係者(主に給食担当者)が集って、研修を行う。 ・開催回数:5回、場所:尚綱大学九品寺キャンパス、内容:事例発表・レシピ交換・協議など 	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
10	<ul style="list-style-type: none"> ●栄養ワンダー2023 ・7月21日(金)栄養ワンダー2023に協賛し、「間食の、すすめ!」をテーマに管理栄養士が調理師養成科とパティシエ科に対して講義を行った。 ・栄養に対する興味や関心が高まり、管理栄養士・栄養士の職能について認知と理解を深めることができた。 	シェフパティシエ学院
11	<ul style="list-style-type: none"> ●専門学校への講師の派遣 ・県内の調理及びホテルサービス専門学校で調理実習を行う。 ・コロナ禍以降調理師の離職が相次ぎ飲食店での人材不足が懸念されている。調理実習を通して食への関心や衛生管理の重要性を教えている。 	熊本県調理師会

II 健全な食生活を実践するための環境整備

施策の方向性	(3) 食品関連事業者等と連携した食育の推進	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑫ 「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	219店舗	219店舗	219店舗	219店舗	250店舗
取り組むべき施策	13) 飲食店や食品販売店におけるヘルシーメニューの提供促進							
	14) 食品工場見学等、体験を通じた食育の推進							
	15) 事業者等に対する食育の普及啓発の促進							
	16) 事業者から発信する食育							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	食品関連事業者等が実施する食育活動支援事業	市民が食育を実践しやすい環境を整備するため、食品関連事業者等が実施する食育活動に必要な技術的支援等を行う	実施	支援業者数 10件	支援業者数 6件	支援業者数 174件	支援事業者数 210件	支援事業者数 219件	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	食品関連事業者向け研修会の開催	食品関連事業者が、食育を推進するための情報や知識を得るための研修会の開催	実施なし	1回 103人	実施なし	実施なし	実施なし	1回 117人 (市民食育講演会)	実施	健康づくり推進課
3	【再掲Ⅱ-(1)】 栄養成分表示の啓発	講座等においてチラシ等を媒体として、栄養成分表示の啓発を行い、健全な食生活の実践のため栄養成分表示の活用を図る	実施	啓発数 8,100人	啓発数 14,176	啓発数 11,690人	啓発数 12,171人	啓発数 11,963人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	栄養に関する表示実施支援	栄養に関する表示支援事業を実施する食品関連事業者等に対して技術的支援を行う	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	食品保健課 健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「健康づくりできます店」の登録数	217店舗	218店舗	219店舗	219店舗	219店舗	219店舗	250店舗	健康づくり推進課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●牛乳飲用消費拡大事業 ・牛乳消費拡大のための調理実習を東区で開催。R5.12.1 21人参加。	食生活改善推進員協議会
2	●ベジチャージ@学食キャンペーン ・学生食堂で販売される弁当・カレーに無料で野菜入りスープをつけて提供。学食を利用していない学生の野菜摂取量底上げのため、学食で購入していない学生にも無料で30食(時期によって40食)の野菜スープを提供。4月～2月に実施。 ・アンケートを実施し、学生から大変支持されていることが伺えた。	熊本県立大学

III 市民運動としての食育の展開

施策の方向性	(1) 市民協働による食育運動の展開	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	① 食育に関心がある市民の割合【再掲】	77.1%	-	-	-	-	88.2%	90%
取り組むべき施策	17) 食育に関する機運の醸成 18) 関係団体と連携した食育運動の展開							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	食育月間等における啓発	6月の「食育月間」や毎月19日の「食育の日」にパネル展示等を行い、広く市民に食育を周知し機運の醸成を図る	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
2	熊本市民健康フェスティバル	食育に関する情報提供や啓発活動を実施	来場者数 9,359人	ブース 来場者数 834人	中止	中止	中止	来場者実人数 908人	継続実施	健康づくり推進課
3	農産物フェア	農畜産物の展示即売及び生産者と消費者の触れ合いの場を創出	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	農水ブランド戦略室 各農業進振興課
4	ホームページ「くまもの食」での情報提供	食の安全安心と食育についての情報提供	HPアクセス数 97,299人	HPアクセス数 93,859人	HPアクセス数 108,619人	HPアクセス数 127,543人	HPアクセス数 96,665人	HPアクセス数 100,593人	増加	食品保健課 健康づくり推進課
5	食育に関する全市的広報	市政だより、ラジオ等を使った市民への啓発	7回	34回	140回	147回	120回	182回	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
6	イベント時に、若い世代への健康に関する啓発	若い世代に、食育、歯科、ライブプラン、がん検診、性感染症等について啓発	実施	啓発数 458人	中止	中止	中止	3回 1,198人	継続実施	健康づくり推進課 感染症予防課
7	食育に関する消費者セミナーの実施	市民を対象にした食育に関する啓発	実施	参加者数 113人	中止	中止	中止	34人	継続実施	生活安全課 消費者センター
8	【再掲II-(2)】食生活改善推進員活動支援	推進員活動の円滑な実施のため、会議等での助言や、相談支援等を行う	年間 4,454人	年間 4,550人	年間 2,343人	年間 2,637人	年間 3,343人	年間 3,917人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
9	食生活改善推進員地区組織活動	食生活改善推進員が、地域で食を通じたボランティア活動を実施	活動件数 45,049件	活動件数 42,838件	活動件数 7,547件	活動件数 9,749件	活動件数 21,947件	活動件数 32,361件	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課
10	8020推進員地域活動支援事業	8020推進員による地域ボランティア活動の実施	支援件数 969件	支援件数 892件	支援件数 260件	支援件数 379件	支援件数 520件	支援件数 1,762件	増加	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●情報誌「りんどう」による食育の市民啓発 ・「特集 糖質の適正な取り方」を熊本市に500部配布。	熊本県栄養士会
2	●栄養の日における栄養情報発信や、イベントでの食育等の普及啓発 ・栄養の日の来場者539名来場。栄養バランスチェック、栄養食事相談等の実施。 ・はあもにいフェスタ、熊本市民健康フェスティバル、けんぐん食と健康まつりの3イベントで、ブース展示349名来場、栄養相談270名の実施。	熊本県栄養士会
3	●自立支援型地域ケア会議への出席:200件	熊本県栄養士会
4	●ラジオ、テレビでの食育等の啓発 ・ラジオでCKD、フレイル予防、食の防災対策、テレビで食中毒予防、備蓄食材のクッキング等について計4件実施。	熊本県栄養士会
5	●歯の祭典、食の健康まつりでの啓発 ・一生おいしく安全な食生活を営む為には、歯と口の健康づくりからを目的に、歯科衛生士会コーナーで普及啓発活動を実施。 ・歯の祭典:びぶれす広場、来場者297名、食の健康まつり:ピアクレス(健軍商店街)、来場者75名。	熊本県歯科衛生士会
6	●熊本市民健康フェスティバル ・熊本市民健康フェスティバル実行委員会主催。協力団体として歯と口の健康づくりを目的に、歯科衛生士コーナーで普及啓発活動を実施。 ・来場者216名。	熊本県歯科衛生士会
7	●熊本市民を対象とした健康イベントへの参加 ・結核予防週間・がん征圧月間街頭キャンペーン(ヘルシーデー)の開催:ゆめタウンサンピアンにて血圧測定・健康相談等を実施 R5.9/23(土) ・健軍商店街健康イベント「東区民まつり」に参加:骨密度測定と健康相談を実施 R5.11/18(土) ・熊本城マラソンでの健康相談を実施:(株)えがおと協力し健康相談を実施 R6.2/16(金)~17日(土)	熊本県総合保健センター

8	<ul style="list-style-type: none"> ●ほいくフェスタわんぱく祭り 内容:野外活動、こども・保護者への食育に関する啓発活動等 日時:10月15日、場所:立田山野外保育センター、参加人数:約1300人 	熊本市保育園連盟
9	<ul style="list-style-type: none"> ●歯の祭典 ・規模を縮小して開催。歯の祭典内の各コーナーで、食育についても啓発等行う。 ・令和5年6月4日(日)、びぶれす広場で開催、総来場者数622名。 	熊本市歯科医師会
10	<ul style="list-style-type: none"> ●歯たちの健診 ・熊本市内の大学の学園祭等にて、無料歯科健診をし、その中で食育に関する指導も行う。 ・令和5年10月21日(土)、熊本保健科学大学で開催、健診者数40名ほど。 	熊本市歯科医師会
11	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本市民健康フェスティバル ・歯科相談、健診、口臭測定 ・令和5年11月19日(日)、熊本城ホールで開催、歯科相談者数190名 	熊本市歯科医師会
12	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本城マラソンおもてなし隊 みそ汁配付 ・マラソン参加者に味噌汁等の配付を行った。 ・R6.2.18 5,000食配付 	食生活改善推進員協議会
13	<ul style="list-style-type: none"> ●公開講演会(食育・健康フェスティバル) ・熊本県内の高校生および大学生を対象とし、「いのちをいっただいて、つなぐこと」と題し、福岡県行橋市の助産師である内田美智子様を講師に実施した。 ・弁当の日を応援していらっしゃる講師の話も非常に好評であったが、前後に自分自身の食を振り返り、共有することで自分事にする「対話と交流を位置づけた講演会」として実施し、大変充実した会となった。 ・11月申込者50名、当日参加者37名(コロナ感染を心配した欠席者あり) 	熊本県立大学
14	<ul style="list-style-type: none"> ●食育訪問 ・10月25日、なかよし保育園(南区幸田)の5歳児25名、4歳児23名に食育訪問。会員18名が9品の手作り料理を園児、職員にふるまった。 ・「いただきます」「どちそうさま」の意味、「料理と材料の名前を覚えて、食べ物にいっぱい興味を持ってください」等の話をした。 ・食事後、「将来、コックさんになりたい人？」の間には10人ほど手を挙げてくれたのが何よりの喜び。 	(一社)全日本司厨士協会 西日本地方熊本県本部 熊本支部
15	<ul style="list-style-type: none"> ●料理教室の開催 ・消費拡大、食育の推進を目的として、野菜や魚を使った料理教室を開催。6月～翌2月、7回実施、計64名参加。 ・内訳:夏野菜ブーケ作り…1回、魚のさばき方…6回 	熊本地方卸売市場
16	<ul style="list-style-type: none"> ●田崎市場感謝祭(主催:市場連合会) ・熊本地方卸売市場(田崎市場)の水産せり場を主会場として、市場内を一般開放し、水産物や青果物を消費者に直接販売。併せて各種イベントを開催し、地産地消費の安全安心に関する理解を深めてもらう。 ・12月3日(日)、4年ぶりに開催、5万人の来場あり。 ・概要:マグロ解体実演販売、模擬せり、サンマ炭火焼き、その他、67事業者による出店 	熊本地方卸売市場
17	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本県魚食普及推進協議会 ・団体・行政等が一体となって魚介類の消費拡大を図る為に魚食普及活動を推進することを目的としている。主に市・町と連携したおさかな料理教室の実施や、シーフード料理コンクールの周知を行った。 ・熊本市の施設や学校など4カ所、9回のおさかな料理教室を実施した。自分でさばくことは予想以上に難しかったが、おかげで調理をしてくれる方のすごさが分かり、感謝の気持ちを持った。家でも1匹購入し、またさばいてみたい、といった感想をいただいた。 	熊本県漁業協同組合連合会
18	<ul style="list-style-type: none"> ●子育てサポートカーニバルにおける歯と口の健康づくり啓発 ・子ども文化会館でのイベントにおいて、乳幼児とその保護者に向けて、紙芝居やエプロンシアターなどの啓発媒体を使用し、むし歯予防の観点から規則正しい食生活やよく噛むことの効果などに関する情報を提供し、食育の推進を図る。 	熊本市8020健康づくりの会
19	<ul style="list-style-type: none"> ●わんぱくまつりにおける歯と口の健康づくり啓発 ・市保育園連盟主催わんぱくまつりにおいて、未就学児童とその保護者に向けて、むし歯予防や歯周病予防の観点から、規則正しい食生活やよく噛むことの効果などをパネルなどの啓発媒体を使用しながら、口の体操や情報提供を行い、食育の推進を図る。 	熊本市8020健康づくりの会

III 市民運動としての食育の展開

*H29年実績値

施策の方向性	(2) 食育支援団体のネットワークの整備	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑬ 「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	*62.6%	保育所等52.4% 支援団体80.0%	23.3%	26.6%	22.7%	26.2%	70%
取り組むべき施策	19) 関係団体とのネットワーク体制の整備と情報の一元化							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	健康くまもと21推進会議、食の安全安心・食育部会の開催	食の安全安心・食育推進計画の進捗状況を報告するとともに、市民意見を計画に反映する	開催数 4回	開催数 2回	開催数 2回	開催数 2回	開催数 3回	開催数 2回	2回	健康づくり推進課 食品保健課 関係各課
2	熊本市子どもの食育推進ネットワーク	子どもの食育を推進するため、関係機関によるネットワークを構築し、連携を図りながら食育推進運動を展開	加入団体数 394団体	加入団体数 400団体	加入団体数 393団体	加入団体数 423団体	加入団体 426団体	加入団体 427団体	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
3	熊本市子どもの食育推進ネットワーク全体研修会	ネットワークメンバーの情報交換と資質向上のための研修会を開催	参加者数 181人	コロナのため中止	動画視聴数 645回	参加者数 229施設 449人 動画視聴数 338回	参加者数 281施設 456人	2回 297施設、 462人参加	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
4	熊本市子どもの食育推進ネットワーク地域研修会	区毎に、地域での食育活動の活発化のため、メンバーの連携強化と、情報交換、資質向上のための研修会を開催	参加者数 626人	24回 538人	6回 512人	9回 847人	10回 606人	15回 408人(施設)	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	「熊本市子どもの食育推進ネットワーク」における連携活動した団体等の割合	62.6%	保育所等 52.4% 支援団体 80.0%	23.3%	26.6%	22.7%	26.2%	70%	健康づくり推進課 各区保健子ども課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●熊本市こどもの食育推進ネットワークへの参画 ・実務者会議(1回)、代表者会議(2回)、各エリアの地域研修会等(6回)へ参加。	熊本県栄養士会
2	●熊本市こどもの食育推進ネットワークへの参画 ・市民児協として熊本市こどもの食育推進ネットワークに登録し、実務者会議に出席した。実務者会議の出席者が会議や部会等で報告することで各委員の「食」に対する意識や理解を深めるよう努めた。 ・各校区において食育ネットワーク担当者と協力し、子育てサークルに参加した親子へ手作りおやつレシピを配布、またこどもに限らず高齢者などを対象としたいきいきサロンでの食の講話など、幅広い世代の方へ食育について周知できるよう取り組んだ。 ・「はやね・はやおき・あさごはんカードとシール」、「こどもの食育推進ネットワークレシピ集」などを配布して地域への情報提供・PRを行った。	民生委員児童委員協議会

III 市民運動としての食育の展開

*H29年実績値

施策の方向性	(3) 地域における食育の展開	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5	
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
検証指標項目	④ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【保育所等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*87.2%	90.2%	88.6%	86.6%	89.5%	93.5%	
	⑤ 体験型食育活動の取組(実施園数/全施設数) 【幼稚園等】【再掲】	公立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
		私立	*100%	100%	100%	100%	100%	100%	
⑭	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	708箇所	768箇所	811箇所	776箇所	
取り組むべき施策	20) 世帯構造や生活の多様性をふまえた食育								

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	介護予防事業	【短期集中予防サービス】 栄養状態、運動及び口腔機能低下者を早期に発見し、悪化防止のための指導を実施	R1.10より 実施予定	実施件数 12回	実施件数 31回	実施件数 72回	実施件数 87回	実施件数 154	継続実施	高齢福祉課 各区福祉課
2	子ども食堂への支援	子ども食堂の開設及び運営に対する助成を実施することで、子どもたちの居場所づくり等を支援	新規	29か所で実施 開催数は未把握	39か所で実施 開催数は未把握	48か所で実施 開催数は未把握	54か所で実施 (R5.3.31現在)開催数は未把握	69か所で実施 (R6.3現在)開催数は未把握	継続実施	子ども政策課
3	保育園児と地域住民との交流会	団子汁会や芋煮会など郷土食の継承とともに、食を通じた繋がりの場を作る	実施	実施	中止	中止	中止	実施	継続実施	保育幼稚園課
4	幼児期の共食の重要性の啓発	1歳6か月児健康診査等において、共食についての啓発資料の配布	R1.10より 実施予定	啓発数 1,660人	啓発数 6,879人	啓発数 5,662人	啓発数 6,472人	啓発数 5,734人	継続実施	健康づくり推進課 各区保健子ども課
5	子どもだけで食事することが「ほとんどない」家庭の増加	3歳児健康診査受診前質問票で、「ほとんどない」との回答者を増加	85.2%	85.4%	86.4%	84.4%	83.6%	82.5%	88.0%	健康づくり推進課 各区保健子ども課
	●検証指標	住民主体の通いの場(高齢者健康サロン等)の数	711箇所	818箇所	847箇所	708箇所	768箇所	811箇所	776箇所	高齢福祉課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●地域貢献活動(JA熊本市女性部)子ども食堂支援 ・部員の畑5か所に年間4種類(じゃがいも、大根等)の野菜を栽培し、6回、延べ40団体の子ども食堂に支援を行った。	熊本市農業協同組合
2	●食育推進「母子福祉支援活動」親子料理教室 ・ひなまつり料理の料理教室の開催。子ども15名、保護者9名、母会6名参加。	熊本県栄養士会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(1)生産者と消費者の交流促進	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑮	農林漁業体験を経験した市民の割合	32.5%	-	-	-	-	32.3%	50%
取り組むべき施策	21) 生産者と消費者の交流会の開催								
	22) 農林漁業体験を通じた食育活動の推進								

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	生産者との給食交流会	給食物資の生産者と児童・生徒との交流と会食を実施し、食育の推進を図る	実施	開催数9回	中止	中止	中止	開催数4回	継続実施	健康教育課
2	食農体験事業	収穫、調理など体験型の事業展開を通して、食と農の理解促進を図る	実施	実施	事業終了				継続実施⇒R1で終了	農水ブランド戦略室
3	すこやか交流広場管理運営事業	子ども農園の貸付や植え付け祭、収穫祭等のイベントを開催し、世代間交流を促進	農園利用率76%	農園利用率76%	農園利用率66%	農園利用率70%	農園利用率70%	農園利用率70%	100%	健康福祉政策課
4	学校農園等での栽培活動	学校農園、休耕田、プランター等を活用し、栽培、収穫等を体験する	実施率100%	実施率100%	実施率100%	実施率100%	実施率100%	実施率100%	100%	指導課
5	市民(小学生等)と水産業者との交流促進	市民と漁業者との交流を通じ、水産業者の紹介、漁業体験活動等を推進	参加者数75人	参加者数78人	事業終了				継続実施⇒R1で終了	水産振興センター

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<p>●あぐりキッズスクール:農業の果たす役割をお伝えし、「食」と「農」との目には見えない強い繋がりを学んでもらうことを目的に開催。親子参加型による開催、対象は熊本市管内小学生(3年生～6年生)、年5回開催。</p> <p>・参加者:14家族(スクール生16名/保護者24名)</p> <p>・実施内容(年5回開催):マイ箸作り、熊本農業高校での体験学習、野菜選果施設見学・稲刈り、みかん収穫体験・柑橘選果施設見学、フラワーアレンジメント、餅つき・餅丸め</p>	熊本市農業協同組合
2	<p>●食育活動:伝統野菜の継承や主食であるお米の大切さ等を伝える事を目的に栽培から収穫までを巡回し指導を行う。</p> <p>・小学校4校:①米:播種・田植え・稲刈り ②米の一生について(座学) ③春日ぼうぶら苗:贈呈、定植指導</p> <p>・こども食堂1箇所:①米:播種・バケツ定植・稲刈り</p>	熊本市農業協同組合
3	<p>●小・中学校及び福祉施設等へ熊本市産ノリを提供</p> <p>・市内の小学校に熊本市産焼海苔を提供し、ノリのPRを行った。</p> <p>・市内小学校2校へ計1,550枚の焼海苔を配布するとともに、漁業後継者から代表クラスの児童へ紙芝居形式でノリについてのPRを実施した(対象児童数1,399名)。</p>	熊本市漁業後継者クラブ
4	<p>●尚綱食育の日お魚の日</p> <p>・天草地区漁業士会と連携した食育イベント、天草さくら鯛を使った鯛めしとおおさ汁の提供、天草の魚や漁業士会の活動をPRするポスター等の掲示、天草の郷土料理や魚介類に関するアンケートの実施</p> <p>・開催日:6月29日(木)、場所:尚綱大学九品寺キャンパス</p> <p>・鯛めし、おおさ汁、がね揚げ、の特別メニューを学食で販売したが、すぐに完売した。学生にも教職員にも大変好評であった。</p>	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
5	<p>●尚綱食育推進シンポジウム</p> <p>・「子どもの未来を拓く保育・食育を目指して」～発達特性に寄り添った偏食の支援～をテーマに、基調講演・研究報告・事例発表をハイブリッド方式で行った。</p> <p>・開催日:令和6年1月21日(日)、場所:尚綱大学九品寺キャンパス、参加者:県内保育施設、学校及び行政関係者約150名</p>	尚綱大学・尚綱大学短期大学部

IV くまとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

*H29年実績値

施策の方向性	(2) 地産地消の促進	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑯ 進んで地元農産物を購入する市民の割合	73.8%	-	-	-	-	59.7%	80%
	⑰ 市内における農産物直売所の販売額	*2,936百万円	2,962百万円	3,125百万円	3,292百万円	3,258百万円	3,579百万円	3,339百万円
	⑱ 学校給食における地元農産物の使用割合	*38.2%	40.7%	38.5%	40.5%	39.2%	38.8%	43%
取り組むべき施策	23) 「くまもとらしさ」を活かした地産地消の推進							
	24) 学校給食や飲食店等への地元産物のPRと活用促進							

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	「ひご野菜」の認知度向上及び普及拡大	熊本に因むストーリーが展開できる野菜を掘り起こし、観光と連携した地産地消の展開を図る	啓発活動の実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	農水ブランド戦略室
2	農産物直売所支援	直売所で組織する「熊本市農産物直売所連絡協議会」の活動を通じ、周年栽培の取組や合同販売会等の実施により、直売所間のネットワーク強化や販売促進を図る	直売所数 17箇所	直売所数 21箇所	直売所数 21箇所	直売所数 20箇所	直売所数 20箇所	直売所数 20箇所	増加	農水ブランド戦略室
3	SNSを活用した熊本市農水産物のPR	農水局フェイスブックや市X(旧Twitter)を活用し、熊本市の農水産物について情報を発信	実施	閲覧数 320,339回	閲覧数 318,451回	閲覧数 235,909回	閲覧数 247,097回	閲覧数 280,292回	継続実施	農業政策課
4	栄養教諭等の生産地視察	学校給食使用農産物の生産地を視察し、食育に活用	実施	開催数 8回	中止	開催数 4回	開催数 7回	開催数 6回	継続実施	健康教育課
5	●検証指標 給食における地元産物の利用と地産地消の推進	保育所給食は、可能な限り、熊本市産、県内産、九州産、国内産の食材を使用	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	保育幼稚園課
6		毎月19日「ひごまるデー」とし市産品の献立を実施。児童、生徒指導のための資料集を作成し、全校に配付	市産品率 38.2% (H30実績 39.2%)	市産品率 40.7%	市産品率 38.5%	市産品率 40.5%	市産品率 39.2%	市産品率 38.8%	43%	健康教育課
	●検証指標	市内における農産物直売所の販売額	2,936百万 (H30実績 2,944百万)	2,962百万	3,125百万	3,292百万	3,258百万	3,579百万	3,339百万	農水ブランド戦略室

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●食育の日 ・熊本県の食材を使い、本学学生が考えたメニューを学食で提供。毎月1回食育の日(全8回・毎月150食)。 ・規格外野菜、防災、地域おこしのような様々な学生グループとのコラボ企画など、学生の実践が食で具体化する様々な工夫を凝らした取り組みを実施した。	熊本県立大学
2	●食育に関する図書館展示 ・季節ごとにテーマを決め、図書館に食育コーナーを設置。年4回。	熊本県立大学
3	●くだものフェスタ ・熊本県果樹生産振興対策本部と連携し、果物の見直しと食生活への定着を目的に、県産果物の周知活動を行った。 ・開催日:令和5年12月6日(水)、場所:尚綱大学九品寺キャンパス ・県産みかんの試食、果物クイズ、パネル展示及びアンケートを実施した。学生からは、このようなイベントをまた開催してほしいという要望が多かった。	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
4	●和食文化の継承・食育の推進:熊本県産食材を使った「地産地消」の取組 ・調理師会会員が所属する飲食店において、県産の野菜や果物、畜産物、海産物に至る食材を県内の卸売業者または生産者さんとのやり取りを通して熊本の郷土に根付いた食文化に合わせて県産品を多く使用するようにしている。	熊本県調理師会
5	●市場見学対応、マスコミ取材対応 ・食育の一環として、また田崎市場に対する理解を深めてもらうため、各団体からの市場見学やマスコミ取材対応を受け入れている。 ・市場見学対応:20件、461名、取材対応:13件。 ・令和5年10月は、田崎市場開場60周年ということもあり、マスコミからの取材が多かった。	(株)熊本地方卸売市場

IV くまもの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性		(3)くまもの食文化の伝承	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5
			基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値
検証指標項目	⑨	家庭での食事に郷土料理等を取り入れている市民の割合	69.9%	-	-	-	-	59.1%	80%
取り組むべき施策	25) 伝統料理や郷土料理等に関する情報提供の推進 26) 関係団体との連携による食文化伝承に関わる活動の促進								

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	郷土料理の食のホームページ掲載	郷土料理、祭事料理をホームページ「くまもの食」に掲載し発信	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	健康づくり推進課
2	郷土料理を掲載した給食レシピ集の発行	郷土料理も含めた学校給食レシピ集を作成し、学校に配布。親子料理教室等での活用や家庭啓発を実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	健康教育課
3	給食における郷土料理の実施と啓発活動	学校給食において、食文化の伝承及び啓発を目的に、月1回給食献立に郷土料理を導入	実施小中学校 100%	100%	健康教育課					
4		豆だご等の郷土料理を給食献立に取り入れ、広く保育所等へ発信すると共に、食育だより等に掲載し家庭へも情報提供を行う	実施	実施	実施	実施	実施	実施	継続実施	保育幼稚園課
5	【再掲Ⅲ-(3)】保育園児と地域住民との交流会	地域住民との交流会で、団子汁会や芋煮会を行い、郷土食を伝承	実施	実施	中止	中止	中止	実施	継続実施	保育幼稚園課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	<ul style="list-style-type: none"> ●「くまものごはん料理教室」郷土料理教室への支援 ・熊本市が開催した、大学生や親子等を対象とした郷土料理教室に対して、講師として技術支援を行った。年間10回、185人参加。 	食生活改善推進員協議会
2	<ul style="list-style-type: none"> ●中学校、高校等での郷土料理講習会の開催 ・学校からの依頼を受け、郷土料理の講習会を開催した。いきなり団子やだご汁等を生徒と一緒に作り郷土料理の話等を実施。 ・桜山中学校2、3年生 150人、長嶺中学校1年生 30人、第二高校1年生 369人、千原台高校 168人、力合中学校 159人。 	食生活改善推進員協議会
3	<ul style="list-style-type: none"> ●鯨肉提供による「鯨肉の魅力」のPRと「鯨と食」に関する意識調査 ・NPO法人くまもと食農応援団の協力で、捕鯨や鯨の食文化に関するパネル展示や学食で「鯨カツ」「鯨汁」の提供、及び意識調査を実施 ・開催日：令和6年1月18日(木)、場所：尚綱大学九品寺キャンパス ・鯨料理はとても好評であり、約9割が美味しい・とても美味しいと答えていた。また、パネル展示により捕鯨についても関心が高まった。 	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
4	<ul style="list-style-type: none"> ●熊本の郷土料理啓発活動 ・熊本の郷土料理の啓発活動(パネル展示及び認知度調査)を実施した。熊本に古くから伝わる郷土料理22品について、地区ごとに分けてパネルを作成し、その認知度をオンラインアンケートで実施した。熊本県の食材や郷土料理、食文化を学ぶ機会となった。 ・開催期間：令和6年1月19日(金)～26日(金)、場所：尚綱大学九品寺キャンパス 	尚綱大学・尚綱大学短期大学部
5	<ul style="list-style-type: none"> ●料理教室 ・県産野菜(ひご野菜)などを使った料理教室の実施。 ・熊本県の伝統野菜を使用した料理教室や国産の大豆を使った手作り味噌教室などを行っている。 	熊本県調理師会

IV くまもとの自然環境と食文化に根ざした食育の推進

施策の方向性	(4) 食の循環や環境を意識した食育の推進	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R5	
		基準値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	目標値	
検証指標項目	⑳ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	ごみを少なくするため「買いすぎ」「作りすぎ」をしないよう心がけている市民の割合	74.6%	-	-	-	-	77.2%	85%
	若い世代【20,30歳代】	68.5%	-	-	-	-	78.4%	75%	
	㉑ 熊本市の良質な水がおいしさの基になっていると思う市民の割合	80.7%	-	-	-	-	81.3%	85%	
	㉒ 「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	91店舗	101店舗	108店舗	98店舗	200店舗	
取り組むべき施策	27) 食育を通じた環境保全								
	28) 環境保全体験を通じた食育活動の推進								

《行政》

	主な取組	取組内容	H30基準値	R1実績値	R2実績値	R3実績値	R4実績値	R5実績値	R5目標値	担当課
1	環境にやさしい店の推進	ごみ減量リサイクルの推進に積極的に取り組む小売店を環境にやさしい店「よかエコショップ」と認定し広報	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	認定店舗数 149店舗	事業終了			増加	脱炭素戦略課
2	水質監視	地下水等に関する水質監視	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	監視率 100%	100%	水保全課
3	広域水保全対策	農業体験や交流ツアー、森林ボランティア活動等を通じ、地下水かん養域と地域との交流や連携を深め、熊本地域の地下水を保全する	参加人数 (台風のため中止)	参加人数 115人	中止	中止	中止	参加人数 20人	200人	水保全課
4	小学校への副読本の配布	小学4年生へ、社会科副読本として、ごみ事情をやさしく解説した「ごみとリサイクル」を作成し、配布	配付数 7,500人	配付数 7,500人	配付数 7,800人	配付数 7,600人	配付数 7,600人	タブレットで受講できるような教材をデータで教育センターに提供した(印刷物は廃止)	小学4年生 全員へ配布	廃棄物計画課
5	生ごみ減量対策	食品ロス削減推進法を踏まえ、「生ごみにしない」、「出でしまった生ごみをいかに減量するか」に重点をおき、生ごみ減量に取り組む (評価指数:新たに生ごみ減量化に取り組んだ人数)	1,220人	1,247人	175人	156人	241人	312人	対前年比 増加	廃棄物計画課
6	環境保全に関する市民啓発	環境保全に関する学習会を開催し、市民啓発を行う	参加人数 3,590人	参加人数 3,485人 (103回)	中止	中止	中止	1,520人	増加	環境総合センター
7	環境にやさしい農業の推進	エコファーマー、有作くん等、環境にやさしい農家の戸数	経営体数 1,625	経営体数 1,365	経営体数 1,349	経営体数 1,324	経営体数 1,322	経営体数 1,257	2,090	農業支援課
	●検証指標	「もったいない！食べ残しゼロ運動」協力店の登録数	72店舗	86店舗	91店舗	101店舗	108店舗	98店舗	200店舗	事業ごみ対策課

《関係団体・機関》(抜粋)

	取組状況	関係機関・団体名
1	●学生グループとコラボした小学生を対象としたワークショップ ・規格外野菜を通して地域貢献を目指す学生グループSalVegeとのコラボ企画で実施した。 ・講師となる学生にとって、対面で情報発信する貴重な機会となった。 ・8月 若葉小育成クラブ、9月 若葉小学校5年生3クラス、2月 帯山小学校5年生3クラス で実施。	熊本県立大学